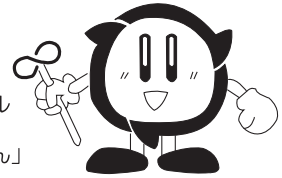


仙台メビウス通信

仙台市リサイクル
シンボルマーク
「メビウスちゃん」



● 編集・発行 仙台市環境局廃棄物管理課
● 電話 022-214-8227

あなたとわたしの声をつなぐクリーン仙台推進員のコミュニケーション情報誌

クリーン仙台推進員対象「施設見学会と分別体験研修会」を開催中.....	1P
シリーズ「こんにちは推進員さん⑥⑦⑧」/メビウスちゃんの豆知識.....	2P~3P
シリーズ「ごみの有料化⑥」.....	4P



クリーン仙台推進員対象「施設見学会と分別体験研修会」を開催中

家庭から集められたごみや缶・びん・ペットボトルなどが搬入される施設の見学と、地域において良き分別アドバイザーになるための研修会を開催しています。対象はクリーン仙台推進員。今年は一コース三十三名定員で六コース開催しています。

第一回目は、十一月二十五日でした。午前中は「ごみ分別体験研修」。分別キットを使って、ごみの分け方を体験するだけではなく、ご近所の皆さんから質問されたときに、どう答えればよいか、ロールプレー

イング（疑似体験）を交えて、話し合いました。

「こんにちは。ちょっと教えてほしいんですけど。今日のプラの収集で、自分の袋が残されたんだけど、何が悪かったんでしょうか」「クリーニングのハンガーが入っていますね。それは家庭ごみなんですよ。そういうものが入っていると、次の家庭ごみで収集されて、せっかく分別したほかのものも、リサイクルされず、ごみとして燃やされてしまうんです。分らないものは家庭ごみで構いませんから、よろしくお願いますね」。ロールプレーイングの中では、間違えやすいものの出し方について質問された場合や、引越してきた方への説明などを取り上げたグループが多く、ごみの分け方について、再確認をしました。

午後は家庭ごみを搬入している「松森工場」と、缶・びん・ペットボトル類を搬入している「松森資源化センター」の見学です。初めて環境施設を見学する方も多く、資源化センターの皆さんが手選別している作業姿に「臭いもすごいし、やっぱり缶・びんは、ちゃんと洗って出さないと、申し訳ないなあ」。きちんとごみを出すことの大切さを体感する一日となりました。

こんにちは推進員さん⑥

「交流があるから相談も」

館六丁目町内会

館六丁目町内会では、町内会長である日比さんとサポート役の小松原さんが推進員となり、環境衛生部の皆さんがクリーンメイトです。「メイトを兼任いただく旨を説明し、排出調査に協力いただくことも、初めからご理解いただいています」と日比さん。推進員活動は、町内会の大きな柱の一つです。

「町内会ではコンサートやハロウィンイベントなど、楽しい企画も実施するし、ごみの問題に



も取り組む。町内会長さんの

情熱が、自然に会員にも届いているので、活動はしやすいです」と小松原さん。「交流の中でコミュニケーションが取れているから、ごみの相談がいつでもできるんです」と日比さん。

活動のモットーは「指導」ではなく「見ている」ということだそうで「皆さん本当に協力的で、きれいに集積所が保たれています。ただ立っているこ

とだけで、『人の目』を感じてもらっているのだと思います」。

そんな町内会の悩みの種は、犬のふん。「丁寧にビニール袋に入れて、袋ごと空き地にポイする方がいらつしやるんです。町内会報で、犬はしつけが大切なことなどを、さりげなく広報したりしています」。

お仕着せではなく、自然体で活動されている様子が、とても印象的でした。

こんにちは推進員さん⑦

「完璧を求めては駄目！」

霞目町内会

「仕事と家の往復だけだった私が衛生部長だなんて…。初めは戸惑うことばかりでした」と語るのは柴崎推進員。「やるからにはちゃんとしたい」と試行錯誤を繰り返しますが「なかなか協力してもらえない。なんでなんだと憤慨しました」。そんな時、奥さまに「地域活動は

会社じゃないんだよ。完璧を

求めては駄目」と言われ、ハツとしたんだそうです。「今では六割の人に分かってもらえれば十分と考えています」。

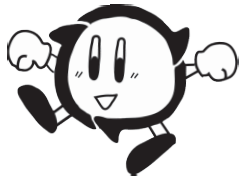
そんな柴崎さんを、強力にサポートしているのが、四人のクリーンメイトの皆さんです。「何より助かっているのが、ご近所の事情を教えてもらえることです」と柴崎さん。

皆さんの活動は、徐々に浸



透ってきているようで「家庭ごみの巡回で戻ってきた集積所に大きな発泡スチロールが…。つい『えーっ』て叫んでしまいました。でも出された方が気付かれたらしく持ち帰ってプラの日にはちゃんと出してくれたんですよ」とメイトの遠藤さん。「集積所の前に立っていたら、小学生が『おじちゃん、ここ臭い』って…。これじゃあだめだなと。一生懸命清掃していたら、あるとき『臭くなくなっただよ』って声をかけられたときは嬉しくて涙が出たねえ」とは柴崎さん。「きれいなまちづくり」は、着々と進んでいるようです。

メビウスちゃんの豆知識



今回は、家庭ごみ等有料化導入当初に多く寄せられた質問から、ごみの出し方の復習をします！！

- Q さかな箱などの大きな発泡スチロールの出し方は？
- A プラスチック製容器包装になりますので、壊して赤の指定袋に入れて出すか、赤の指定袋（大）を表面に貼り、発泡スチロールを紐で縛って出してください。
- Q 割れた茶碗や包丁を、家庭ごみの指定袋とは別に小さなレジ袋に入れて「キケン」と書いて、出したら収集してもらえなかったんだけど…。
- A 包丁やはさみ、少量のガラスや瀬戸物類の危険物は、家庭ごみとして収集します。収集の際に危なくないように厚手の紙などでくるんで、ほかのごみと一緒に緑の指定袋に入れ指定袋の表面に「キケン」と書いて出してください。
- Q 生ごみをレジ袋に入れてから、家庭ごみの指定袋に入れて出してもいいの？
- A レジ袋などを内袋として使うのは構いません。

こんにちは推進員さん⑧

「夜間排出防止に鈴」

八木山団地緑風町内会

井口さんが推進員になられたのは、平成十九年八月。「町内会長に拝み倒されましたねえ」…。まず始めたのが、収集日のごみ集積所の立ち会いと、ごみ拾い

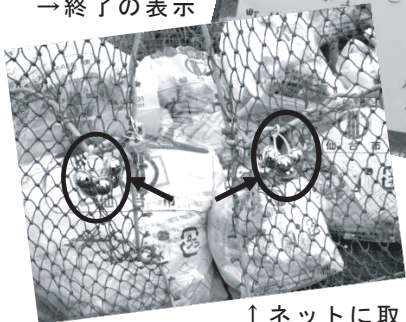
を兼ねた地域巡回でした。「とにかく黄色いベストを着て歩くことにしています。初めは『おじちゃん何やってるの？』といっていた小学生たちも、今は『ごみ拾いのおじちゃん』と声を掛けてくれます」。

町内会の悩みは、夜間の不



↑袋のデザインも配して、「火曜日はプラ曜日です」と表示。

→終了の表示



↑ネットに取り付けた鈴（矢印部分）。ごみを出すとき音がなります。

法投棄でした。「初めは骨組みだけだった集積所にネットを掛けて、そこに鈴を付けました。人間の心理なんでしょうね。音がなることを知って、これで夜間投棄がなくなりました」。

井口さんの工夫は数々の掲示物にもあります。早朝「今日は〇〇の日です」の掲示をし、収集車が行った後には「今日の収集は終わりました」と掲示します。「それでも後から出されることがあったんですが、たまたま出された方が分かったので一言お声掛けをしたら、

もうなくなりました」と井口さん。集積所に立ち会うときには、とにかく近所の方にご挨拶します。「もちろん笑顔ですね。コミュニケーションを取ること、ごみの話もしやすくなります。『きれいなまちに住みたい』っていうのは共通の願いです。初めのうちには私のことを避けていた近所さんも、今では率先してまち美化に協力してくれているんですよ」。

会話の弾むごみ集積所は、まちの皆さんが集う、新しい形の井戸端会議場です。

その1

**集積所における協力員
啓発活動に、ご協力
ありがとうございました。**

有料化導入当初の二週間、市内全域一、〇五七の町内会・自治会等、計九、五八二人の皆さまに、協力員として、集積所における啓発活動にご協力いただきました。本当にありがとうございました。

啓発活動に際してご記入いただきました「啓発活動報告書」には、「二週目には不適正がほとんどなくなった」「ごみの量が、目に見えて減った」「これからも継続して啓発していきたい」などの感想を、たくさん頂戴いたしました。

また、ごみの出し方のよくない集積所についての情報を頂戴した場所は、状況を調査した上で、その地区にあった指導や支援をさせていただきます。

なお現在、啓発活動に対する

その2

**有料化導入後二カ月間
の状況を報告します。**

お礼として、ご協力いただいた町内会に「協力金」を振り込みさせていただきます。

協力金の振込手続きは、振込依頼書の受付順に進めております。このため、振込時期が団体によって異なりますのでご了承ください。

振込手続きが終了した際には、町内会長様に文書でお知らせしますので、よろしく願います。

●啓発活動及び協力金に関するお問い合わせは、廃棄物管理課指導係(二一四・八二二七)へ

有料化を導入した十月の家庭ごみの排出量は、前年と比べ二十六・三%、十一月は二十二・二%の大幅な減少となりました。

九月中の駆け込み排出の影響

などもあり、また、週毎の減量幅にばらつきもあるため、今後の減量状況の推移を、引き続き見守っていく必要があります。

紙類の定期回収量は、徐々に増えておりますが、当初見込みより少ない状況にあります。

また、ごみの排出状況としては、ごく一部の集合住宅などが使用する集積所では、不適正な排出が見受けられましたが、チラシの配付など個別の排出指導を行った結果、改善しつつあります。

一集積所あたりのごみの取り残しは、十月一日の時点では一・二個でしたが、十一月三十日現在では〇・二個まで減少しました。

仙台市では、町内会と連携しながら、今後とも不適正排出の改善に努めてまいります。

ごみの排出状況や不法投棄など、お困りの際には、お気軽に担当の環境事業所にご連絡ください。



環境事業所のご案内

青葉環境事業所	277-5300
宮城野環境事業所	236-5300
若林環境事業所	289-2051
太白環境事業所	248-5300
泉環境事業所	773-5300

〇〇〇編集後記〇〇〇

- ◆啓発期間には、黄色いベストの皆さんがたくさん活動されている姿に今更ながら驚き、皆さんのお力で住みよい地域がつけられているんだなあと実感いたしました。本当にお疲れさまでした！そして、これからよろしく願います。(中西)
- ◆有料化が始まり2カ月が過ぎましたが、皆さんのご活躍のおかげで、新しいごみの出し方が浸透してきました。これからも多くの方々にご協力をいただきながら、更なるごみの減量につながればと思いますので、よろしく願います。(大友)